

受けない理由は **高い？ 忙しい？ 忙しい？** 高い？ 忙しい？ 忙しい？  
 いいえ、**可児市の検診は お得！ 便利！**



**知られたくない**  
 プライバシーに配慮  
 個人に直接案内しており、結果や受診履歴がほかの人に知られることはありません。



**忙しいから無理**  
 人間ドック形式で複数のがん検診を一度に受けることができるので便利です。\*

**さらに**  
 土曜も受診できる、半日で検診を受けられるなど、**自分に合った医療機関を選ぶことができます。**\*

\*医療機関によって異なります。



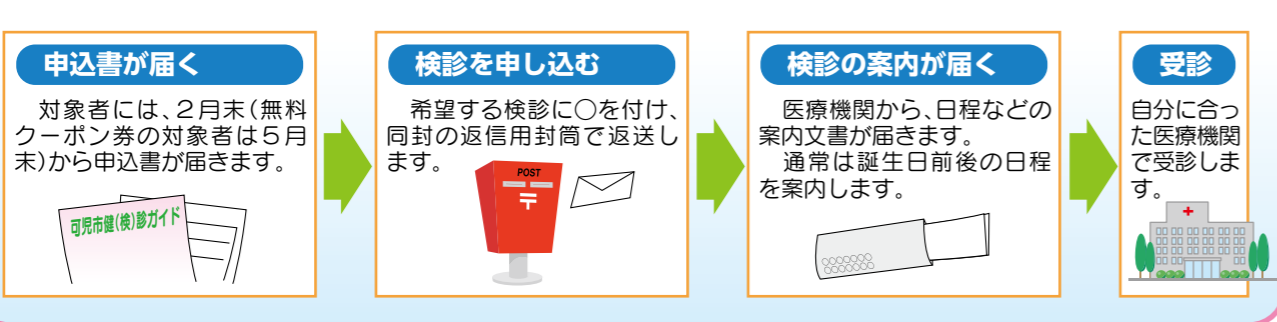
**費用が高い**  
 検診費用は、市が費用の一部を負担しているため、**少ない負担で受けることができます。**  
 例えば子宮頸がん検診では約8,000円を市が負担しており、個人が支払うのは1,000円で済みます。

**しかも**  
 大腸がん、乳がん、子宮頸がん、肝炎ウイルス検診など、国と市が費用を負担し、**無料で受診できる**検診もあります。対象者には、2月から5月に送付した申込書に、料金無料の表示や無料クーポン券が付いています。

可児市で実施している検診です

検診の内容	料金(個人負担金)	対象者
<b>肺がん検診</b> (1分程度)	検 X線撮影、喀痰細胞診(長期喫煙者など) ¥ X線700円 喀痰検査500円	対 40歳以上
<b>乳がん検診</b> (5分程度)	検 X線撮影と視触診 ¥ 1500円~1800円	対 40歳以上で前年度に市の乳がん検診未受診の女性
<b>胃がん検診</b> (5分程度)	検 レントゲン撮影 ¥ 直接撮影2000円 間接撮影1000円	対 40歳以上
<b>子宮頸がん検診</b> (5分程度の視診、内診、細胞診)	検 子宮の入り口にできる頸がんを調べます ¥ 1000円	対 20歳以上で前年度に市の子宮がん検診未受診の女性
<b>前立腺がん検診</b> (採血のみ)	検 注射で血液を採ります(メタボ、肝炎ウイルスも合わせて検査できます) ¥ 700円	対 50歳以上の男性
<b>大腸がん検診</b> (2日分を提出)	検 便に血が混じっていないか調べます ¥ 500円	対 40歳以上

簡単！ 検診の申し込み～受診までの手順



10月は「がん検診強化月間」

誕生日には、家族に安心をプレゼント



がん検診を受けていますか？  
 可児市では「費用がかかりそう」「時間がかかりそう」と敬遠する人も多いのが現状です。実は手軽に受けられる検診について紹介します。

**大切な家族が病気になったら**  
 「ある日、自分や家族ががんになったら...」  
 毎年1回のがん検診を受けることで、そんな不安を減らすことができます。定期的に検診を受け、健康で過ごすことで、家族に安心をプレゼントしましょう。

**がんによる死亡者は約3割**  
 がんは、日本人の死亡原因の第1位で、3人に1人が亡くなっています。可児市においても、死亡者全体の約3割ががんとなっています。

**早期がんが見つかる！**  
 こんなに助かる 68人にがん発見  
 がんの多くは、早期では痛みのような自覚症状がありません。自覚症状が出た頃にはかなり進行している事例が多く、症状が出る前に

順位	死因	割合
1	がん(悪性新生物)	32.5%
2	心疾患	12.7%
3	肺炎	10.3%
4	脳血管疾患	7.6%
5	老衰	7.3%
6	その他	29.6%

がんが見つかった68人は、検診を受けた人です。ところが市のがん検診受診率は、胃がんが**9.6%**、一番高い乳がんでも**16.9%**。これは日本の受診率と比べても低い数値で、検診があまり受けられていないことがわかります。

もしかすると検診を受けていない90.4%の中からも、がんが見つかるかもしれません。

**受診したのは9.6%**  
**検診受診率の低い可児市**

25年度は検診の結果、**68人**にがんが見つかりました。しかし、可児市でがんになった人が全員で68人というわけではありません。

人を見つけることのできる検診を受診することが大切です。

がん種別	国*	市(H25)
子宮がん	27.5%	16.4%
乳がん	27.4%	16.9%
肺がん	38.7%	9.5%
大腸がん	35.4%	13.4%
胃がん	36.7%	9.6%

\*平成25年度国民生活基礎調査

## 検診を受けた市民の体験談を紹介します

### 体験談 ① 子宮頸がん検診

#### 無料クーポンを使って

27 歳女性

昨年度、子宮がん検診を無料で受けられるクーポン券が送られてきたので、初めて子宮がん検診を受診しました。

何も自覚症状はなかったのですが、検診で『要精密検査』という判定結果だったため、ガンかもしれないと思い、すぐに精密検査を受けました。

その結果、子宮頸がんの前がん状態である『子宮頸部異形成』という診断結果が出ました。『子宮頸部異形成』は、がんに進行することもあるということなので、今後も定期的に検診を受けたいです。

検診を受けて自分の状態を確認することができたので、自分で気をつけることができるようになりました。検診を受けて良かったです。

### 体験談 ② 前立腺がん検診

#### 手軽な検査で見つかった！

69 歳男性

平成 23 年度の市の前立腺がん検診で、『要精密検査』だったため、しばらくしてから病院に精密検査を受けに行き、前立腺肥大症と診断されました。その際、医師からは、今後の検診で検査値が高くなればまた受診するよう言われました。

平成 25 年度の前立腺がん検診で検査値が高かったため、精密検査を受けに行きました。1泊2日の入院で行い、痛みを伴うため、とても嫌でしたが、精密検査を受けなければ検診を受けた意味がないと思い、受けることにしました。結果は、早期の前立腺がんだったため、手術を受け、がんを取り除き、今は経過観察中です。

前立腺がん検診は、血液を少し採るだけでできるとても手軽な検査なので、特にがんが増える60歳過ぎの男性はぜひ受けるとよいと思います。

## ホームページでも検診受付中！

今年度の検診申し込みを受け付け中です。  
手元に申込書がない場合は、ホームページや  
✉(kenkozosin@city.kani.lg.jp) から申し込みできます。  
不明な点は、健康増進課にお問い合わせください。



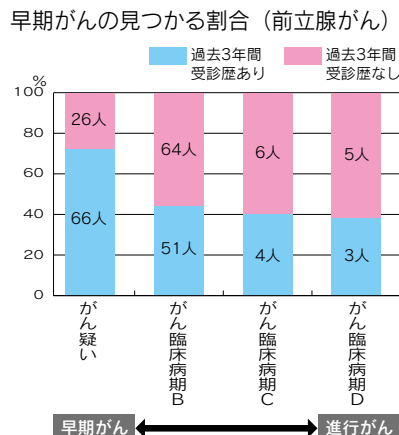
申し込みはこちら➔

毎年受けて、早めの発見

検診は一度だけ受ければ良いというものではありません。

検診でがんが見つかる場合、毎年受診している人は「早期がん」で発見される割合が高くなります。時々しか受診していない人は、がんが進行した状態で見つかることが多くなります。

早期に発見し治療を始めれば、それだけ治る可能性が高くなります。また治療に要する費用や時間などの負担も軽くなるため、毎年検診を受けることが必要です。



健康で楽しく過ごすために

検診は、症状の有無にかかわらず毎年定期的に行うことが重要です。

いつまでも健康と楽しく過ごすため、がん検診を受けてください。

問合せ先 健康増進課